

とよおか



# 農香だより

No.50  
2021.

# 12



豊岡市長に意見書を提出しました・・・2P～4P  
頑張ってます！農地利用最適化推進活動・・・5P  
特産農産物、特産品の紹介・・・・・・・・・・6P  
きばっとなる人らあ・・・・・・・・・・7P

写真：但東シルクナス

# 豊岡市長に意見書を提出しました

令和4年度の予算編成に先立ち、10月8日、大原会長をはじめとする役員5名で市長室を訪れ、意見書の趣旨を説明し、市長に意見書を提出しました。



市長と大原会長、役員

## 1 遊休農地の発生防止及び解消

### (1) 農地利用最適化に関する連携支援について

農業委員会は、遊休農地の発生防止及び解消のため、区・農会・営農組合等の協力を得て、担い手への利用集積などの推進を図っていますが、市は、県・国・農地中間管理機構の補助制度の活用など連携支援をより一層充実させたい。

### (2) 発生防止及び解消に向けた具体的な支援について

遊休農地を活用できるよう、

転作作物、ビオトープ等の活用提案を行うなど幅広い支援を進められたい。

ア 近年、遊休農地予備軍が増加しています。市は、区・農会が地域で守るべき農地を定め、それを維持していくことができれば、多面的機能支払交付金制度を活用するなど幅広い指導をされたい。

イ 大型機械を使用するため、水田の大型化や農道拡幅、水路改修等、地域で行う基盤整備について、市・県が一体となつてより一層の指導をされたい。

ウ 中山間地域では、高齢者が地域の担い手となり農地を守っています。市は、個人で対応できない遊休農地について、地区組織で取り組めるよう指導と支援の充実をされたい。

### (3) 遊休農地の特定利用における農振農用地除外について

ア すでに遊休農地となった農地については、地域で守るべき農地とそうでない農地を地域で話し合いの上で合意形成を図り整理することが必要

であると考えます。守るべき農地でない判断した農地に、再生可能エネルギーの導入促進として発電設備の設置を計画する場合は、農業振興地域を農用地区域から除外する要件見直しについて県・国に働きかけられたい。

### (2) 集落営農の育成と支援について

イ 農業振興地域整備計画の総合見直しについては、本市の農業を取り巻く環境変化や経済活動における土地利用の需要の高まりに対応した農地の有効利用の観点から、適正周期に実施されるよう努められたい。

## 2 担い手農家や集落営農の育成と支援

### (1) 担い手農家の育成と支援について

ア 農業スクールは、農業の担い手育成に大きな役割を果たしていると評価しています。市は、同制度を今後も継続するとともに、さらに新規就業者を増やすために本制度の周知・浸透に努められたい。また、女性活躍社会の実現やアクティブシニアの増加に

伴い、シニア世代を含めた募集要件の見直しを検討されたい。

イ 認定新規就農者（原則45歳未満）及び農業スクール卒業生の自立を促進するため、「豊岡市若手農家支援事業」等の施設・機械の初期投資に係る支援制度が設けられているが、若手農業者の事業をスムーズに軌道に乗せるため、技術指導も含めた継続した支援をより一層充実されたい。

### (2) 集落営農の育成と支援について

ア 集落営農の構成員は年々高齢化しており、後継者の確保が課題となっています。市は、県・国・農地中間管理機構・JAと一体となつて、集落営農が持続するよう、長期にわたる育成・支援制度を確立されたい。

イ 集落営農は地域農業の主要な担い手であるが、農産物価格の低迷や人的資源の不足など厳しい経営環境下において、コロナ禍の影響でさらに深刻化することも想定されます。集落営農の安定経営のため、労働力軽減や農業技術の継承に寄与する省力化機械の導入や既存機械更新時の支援制度を検討されたい。

### 3 地域を支える農政

#### (1) 人・農地プランの取り組みについて

人・農地プランの取り組みへの重要性が再認識されています。今後、区・農会等による話し合いに基づくプランの実質化を推進するため、市は農業委員会・J・A・区・農会との連携を深める施策に取り組みたい。

#### (2) 多面的機能支払交付金制度の推進について

共同活動について  
ア 交付金申請事務の簡素化について、県・国に引き続き働きかけられたい。また、全域が取り組めるよう、制度の周知徹底に努め一層の推進を図られたい。

イ 施設の長寿命化活動の推進について

農業施設の老朽化が進んでおり、施設の長寿命化活動について積極的な指導・支援を推進するとともに、制度改正により希望する事業ができなくなっているため、制限の緩和について、県・国に働きかけられたい。

#### (3) 中山間地域における農村を活性化する支援について

ア 新規就農者の育成支援

認定農業者などの担い手がいない中山間地域において、今後、地域における中心的な役割を果たすことが見込まれる農業者として、「定年帰農者」や農業と他の仕事「X」を組み合わせた「半農半X」など多様な形態で新規就農を促すための支援を検討される。

イ 農業者以外と共同して進める施策

農産物を生産・加工する企業や捕獲されたシカ、イノシシを食品加工する企業を募集するなど、農業者とともに地元の農業を活性化する施策を検討されたい。

### 4 有害鳥獣の被害防止対策の強化

#### (1) 被害防止の対策について

ア シカ、イノシシの被害防止対策として、電気柵・ワイヤーメッシュ等の防護柵が非常に有効であると評価しています。しかしながら、ワイヤーメッシュについては、強度を上げた規格の場合、経費が高額になるため、事業費の補助を半額以上に拡大することと併せ、補助事業採択枠の拡大など支援をより一層充実させたい。

また、ハード事業のみならず、

ず、有害鳥獣被害対策に関する知識・技術の習得や最新の情報入手するため、毎年、ソフト面の強化に繋がる研修会等を開催するなど検討されたい。

イ バッファゾーンを整備する補助事業について、採択件数を増やすよう、県・国に働きかけられたい。

ウ サルによる被害は、農作物のみならず、家屋などの損傷が非常に深刻です。既存のサル被害対策補助制度に加え、さらなる充実を図られたい。

また、サルの捕獲に係る保護政策を見直すよう、県・国に働きかけられたい。

#### (2) 個体数減少の対策について

有害鳥獣の被害は、水稲など農作物だけでなく、畦畔、農道などにも被害が及び、場所によっては修復する事が非常に困難な場合もあります。仮に修復したとしても、再度被害にあうなど現状は深刻です。被害を軽減するには、個体数を減少させる事が最大の有効施策と考えます。

よって、狩猟者の増加を図るための支援とともに、狩猟条件の緩和などについて県、国に働きかけられたい。

### 5 環境にやさしい農業の推進及び地産地消と食農教育

#### (1) 環境にやさしい農業の推進について

有機J・A・Sなどの認証にかかる手続きやメリットについての広報を強化し、農業者による認証取得により、

## スマート操縦システム ソーラーシェアリング

特別価格  
88万円(税込)  
取付費別



多種類農機の直進補助、自動操縦に対応  
簡単にスマート農業が始められます!



太陽光を農業生産と発電で共有し  
農業経営をサポートします!



但馬米穀株式会社  
TAJIMA BEIKOKU Co., Ltd.



豊岡市中陰318-3  
Tel 0796-22-2131(代)  
Fax 0796-24-3987  
お気軽にご相談ください!



市長と意見交換

農産物の高付加価値化を図り、安全・安心な豊岡ブランドの醸成を推進されたい。

## (2) 地産地消の推進について

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛や外食産業の営業制限は農産物の消費量を押し下げ、農家は販売価格の下落に苦しんでいます。一方、内食いわゆる巣ごもり需要の増加によって、消費者のニーズは、より一層安全・安心な農産物へと高まりをみせ、地産地消などへ移行すると思われれます。

このような状況の下、「コウノトリ育む農法」のお米や「コウノトリの舞」ブランドの農産物を中心とした安全・安心な豊岡ブランド農産物の普及をさらにすすめて、関係機関との連携により食品スーパーや飲食店等への豊岡産農産物の流通の拡大・強化など、豊岡産農産物の消費推進を図るための施策を講じられたい。

また、余剰野菜を子ども食堂や生活困窮者などに提供できるフードバンク活動などの支援の仕組みづくりを検討されたい。

## (3) 食農教育の推進について

次代を担う子どもたちや若い世代が農業に興味・関心を持つために、農業団体や食品関連企業とも連携し、地域・学校・園において、その地域の伝統野菜や行事食などについて学ぶ食農教育を積極的に進められたい。

## 6 その他

### (1) 「スマート農業」の推進について

「スマート農業」は、農業者の労力軽減や課題解決による農家の働き方改革に大変有益であると考えます。

しかしながら、農業者の認知度は比較的高いものの、導入の実現にはまだ課題もあり、将来的な普及拡大に期待するところです。

今後、生産現場への実装のためには、引き続き、「スマート農業」に関する有益性や最新情報、活用事例等の情報発信を積極的に行っていくことが必要と考えます。

一方、導入費用が高額なものも多いことから、レンタルやリースなどのサービス提供や補助制度の充実により、農業者が現場へ導入しやすい仕組みづくりについて継続して取り組まれたい。

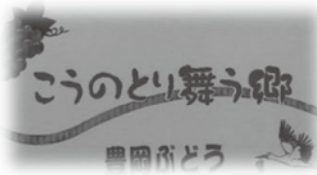
### (2) 「農福連携」の仕組み作りについて

農業者の減少や高齢化の進行にもない、基盤産業である農業の将来にわたる継続のためには、人材や労働力の確保は急務であります。

農福連携をはじめとする農業者以外の方への農作業委託は、労働力不足で悩む農業者にとっては非常に有益であります。そのマッチングが難しく、実現にはまだ課題があるのが実情であります。マッチングにより、農福双方の課題を解決すると共に、共通の達成目標をもつことにより、農業分野だけでなく地域全体の活性化につながることが期待されます。

多様な業種連携の取り組みの一つとして、地元企業と連携するなど農福連携の仕組み作りに努められたい。

## ぶどう栽培に挑戦してみませんか



市内生産者 46 名加入。ピオーネ主体に、人気のシャインマスカット栽培拡大中。新規栽培者の育成支援。進物ぶどう、ふるさと納税返礼品等、豊岡ぶどうの販売拡大に取り組んでいます。

たじま農協 葡萄部 豊岡営農生活センター TEL 24-3641  
たじまま TEL 22-0300

## 田鶴野地区 (豊岡地域)



私は一昨年より農地利用最適化推進委員となり、遊休農地の確認、農地のパトロールなどの活動をしています。

私の住む田鶴野地区は、遊休農地は少ないですが、長年農業委員を務めた亡き父からは、手つかずのまま放置された遊休農地が市内にあることは聞いておりました。それから数十年経ちますが、未だに解決しておりません。

推進委員に就任してから、農業委員、事務局職員、私の三人で土地所有者と話し合いを続け、今年の春頃から雑木の伐採、資材の撤去が進み、解決しつつあります。先頃の秋の彼岸にはそのことを父



遊休農地解消



西推進委員  
田鶴野地区



村田農業委員  
田鶴野地区

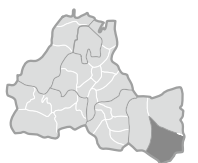
の墓前に報告しました。私が担当する田鶴野地区（耕作面積223ヘクタール）は、豊岡市街の北側に位置し中央部に円山川が流れ、東西に二分されています。昔は田鶴野東部の円山川下流域は低湿田が多く、農家は水に難儀していました。私も幼少期ごろ、稲わらを舟に載せて収穫しているのを目にしたものでした。昭和40年頃になると、土地改良工事が進み、大型の農業機械も入るようになりました。

私は仕事柄、市内のあらゆる地域に出かけますが、山間部の狭隘な場所にも農地が点在しているのを見て驚くことがあります。昔の人々が苦勞して開墾し、耕作してきた農地を今まで守り続けてきたことに頭が下がります。

農地利用最適化推進委員のひとりとして、今後も農地を大切に守り続けたいと思います。

(推進委員 西 登巳夫)

## 高橋地区 (但東地域)



但東地域の高橋地区は、但東町の東側の国道426号沿いの9区です。農地は約190ヘクタールあり、主に水稻が栽培され、他にピーマン、スイートコーン、ソバ等が作付けされています。

当地は中山間地が多く、農地の畦畔が大きく草刈り作業と用排水路管理等が大きな負担となっています。また、獣害が多く発生し、メッシュフェンス柵敷対策は、ほぼ100パーセント実施しています。フェンスは、シカには効果がありますが、イノシシ・クマ・アナグマ等にはほとんど効果がなく、フェンスは破壊され、修復に費用と作業の負担が増大しています。

獣害から農地を守るためには、山林とりわけ里山整備が最も重要ですが、近年、山林整備は国産木材需要の低迷と急速な農林業人口の減少により、放棄山林が多くを占めるよう



桑田推進委員  
高橋地区



上坂農業委員  
高橋地区

になってきています。あわせて昨今の異常気象により山林崩壊が進み農地・用排水路へ土砂流入も多発し、農家の負担はますます増える一方です。人口減少が進み、限界集落がそう遠くない現状で、農地を守るための対策を、地域住民・行政一体となつた取り組みが急務だと考えています。地域の推進委員として遊休農地利用意向調査、農地集積化、離農農地貸借相談等、農地パトロールを定期的に実施しながら、少しでも遊休農地解消ができるよう活動したいと思います。

皆さまのご協力をよろしくお願ひします。

(推進委員 桑田 均)



優良農地を守るフェンス

昔から農家や地域で大切に守られてきた多くの特産農産物を皆さんに知ってもらい、地域農業の振興に役立ててもらうため、この特集を行っています。今回は「朝倉さんしょ」と「神鍋のとちの実(とち餅)」です。

### 朝倉さんしょ

J A たじま朝倉さんしょ部会  
 部長 佐藤 君直さん

「朝倉さんしょ」を平成22年から栽培されている「J A たじま朝倉さんしょ部会」部会長の佐藤君直さんを訪ねました。

「朝倉さんしょ」は粒が大きく、ひとさわ香り高いさんしょとして知られています。その名は養父市八鹿町朝倉の地名に由来しており、まさしく「たじま生まれ」のさんしょで、400年以上も昔から大切に育てられ、江戸幕府への献上品とされた「朝倉さんしょ」。現在では独特の味と香り、品質をさらに高め、たじまの地域プラ



剪定作業をする佐藤部会長

ンド「朝倉さんしょ」として養父市を中心に

但馬全域で盛んに栽培され、豊岡市内でも59名の農家やグループが

1760本を栽培されています。

「朝倉さんしょ」のおいしさの特長は、他のさんしょに比べて香りゆたかなこと。柑橘系のフルーツを思わせる爽やかな香りが口の中いっぱいに広がります。佃煮や炊き込みご飯にすると、お米の甘みと「朝倉さんしょ」の香りが絶妙のおいしさを醸し出します。

また、当部会では「朝倉さんしょ」のさらなる品質向上のため、実が大きくて香りが良く、枯れにくい優良系統の苗を育成し、すべての苗にタグ付けして品質管理を徹底されています。

「苗木を植えてから約3〜4年で収穫できるようになり、栽培の場所を選ばないので、遊休農地を有効に活用でき、普段は仕事や他の農作業に追われている方でも、作業が少なく、負担を増やすことなく、栽培が始められるので安心して気楽に取り組んでほしい。」と言われています。

(農業委員 仲川 弘之)



さんしょの花

### 神鍋のとちの実

(とち餅)

#### 高砂屋製菓

藤原 正利さん

日高町十戸で自家製「とち餅」を作り販売されている藤原正利さんにお話を伺いました。

藤原さんの店は、十戸の滝の近くの国道沿いにあり、昭和初期の創業以来、保存料や添加物を一切使わない昔ながらの製造にこだわって続いています。

材料のとちの実、地元の「ある所」(秘密の場所)で採れます。採れたとちの実は、すぐに水に漬けます。そしたら実の中から虫が出てきます。その後は「灰」を使用してあく抜きをします。

もち米(マンゲツモチ)は、すべて自分で育てたものを使用します。

#### 餅つきも

昔ながらの杵つきで作られ、とちの実の比率は3割ぐらいいというこトです。とちの実が多く入り、渋味のきいた

のが好きな方や、ほんのりした味が好みの方もありますが、この渋味はあく抜きの加減によるものだと思います。

最近、コロナ禍の影響か、観光客が少なく、みやげを買って帰る人も少なくなりました。以前は、近所や親戚に配る分も買われていましたが、今はそのようなことも珍しくなりましたと話されています。

店では、とち餅の他にも昔ながらの製法で作られたいろいろなお餅も販売されています。

(農業委員 和田 敏明)



藤原正利さん(お店の前で)

## 「夢のある職場でありたい」

長砂 哲也さん（豊岡市加陽）

長砂哲也さん（42才）は、豊岡農業スクールに3年間在籍され、令和3年4月に㈱モリタファーマー（水稲35ha、菌床シイタケ4,000個）に就農されました。約20年間建設業に携わっていたものの、小学生の頃から農作業の手伝いをした経験から農業に対しては愛着があったということです。

長年の建設業の経験から水平感覚、高低差感覚には研ぎ澄まされたものがあります。水稲のプール育苗、育苗ハウス内の高低差がいつも気になっているそうです。

この春からドローンの操縦を任され、防除はお手のもの！ 持って生まれた体格と持ち前の体力で、㈱モリタファーマーにはなくてはならない存在となっています。「なるようになる」という言葉が好きと言われていますが、涼しい瞳の奥からは手を抜かない、妥協は許さないという信念が見られました。

豊岡の農業の将来について、「高齢化が進み懸念がありますが、農業スクールの卒業生は着実に就農、規模拡大している明るい兆しがあります。でもまだ足りません。私たち卒業生が見本となり、夢のある職場、業種として示すことができれば良いと思います。また農業だけでなく、メリハリのついたON・OFFの中で趣味も含めて好きなことができる職場でありたい。」と言われていました。

（農業委員 西沢 泰裕）



長砂哲也さん

## 奥山ジビエ

安倍 育登さん（出石町奥山）



安倍さんご夫妻

安倍育登さん（27才）は、平成29年10月から地域おこし協力隊になり奥山地区に移住されています。出身は神戸市で、大学に在学中から農業などに興味を持ち、4回生の時に、北海道で出会った猟師の話聞いて猟師になりたいと思われたそうです。

現在では猟師として活動され地域活性化と有害鳥獣の駆除を担っておられます。奥山地区の空き家を購入され、令和2年3月にジビエ解体処理施設を開業され「安倍商会」として営業されています。

状態の良いシカやイノシシが捕れると、とめ差しから30分以内に解体処理が行われます。解体には昨年6月に結婚された妻のあいさんも協力されます。

個人向けの販売サイトを立ち上げられ、鹿肉ロースなどを販売され、「たじまんま」でも鹿肉



ジビエ肉

と猪肉のみを使用した「無添加ジビエソーセージ」を販売されています。また、市内のペットフード店にも加工品を卸されています。

地域おこし協力隊は卒業されましたが、「休日には、猟師仲間や地域おこし協力隊の若い仲間が片付けなどを手伝いに来てくれる。」と嬉しそうに話されていました。

お問合せ <http://okuyamagibier.com>

（農業委員 仲川 弘之）

表紙について 但東シルクナス

シルクの郷但東町では、1983年に但東シルクロード計画が策定されました。但東自然ふれあいセンター「やまびこ」を基幹施設として様々な町おこしが実行されました。シルクの白をイメージしたシルクコーンの栽培より先に2000年にシルクナスの栽培・販売が始まりました。ナスを英語で“Egg plant”と言いますが、ガクから飛び出た白いナスは白い卵そのものです。

栽培にあたっては、陶器のように白く艶やかな果面に傷がつかないように、着果結実して親指大になった時点で袋掛け作業を行います。また強風による葉ズレ被害を防ぐために、圃場のまわりにはソルゴー（牧草）が植栽されています。カルシウム、ビタミンEなど栄養豊富なシルクナスは、焼きナス、ステーキ、素揚げはもちろんのこと、アヒージョ、バター炒めもお勧めです。熱を加えることにより、締まった果肉はふわとろの食感に変化し、絶妙の風味が感じられます。

（農業委員 西沢 泰裕）



白く艶やかな果面



袋掛け作業する井上孝士さん



全国農業新聞を購読してみませんか！

農業の最新情報を提供

週刊（毎週金曜日発行） 月700円  
（送料、消費税込）

\*お申し込みは  
農業委員会事務局または、  
地元の農業委員・推進委員  
まで

編集後記

令和2年産の米は、令和2年6月末時点において適正在庫を上回るため、米価の下落を来しました。作況指数も「100」（全国）というところで益々在庫が増えています。

全国的には、令和3年産に向けての作付面積を削減の方向が示されました。豊岡市でも減反かと思いきや、前年の目標面積に対して、実際に作付された面積が54ヘクタール少ないということから、令和3年産の作付は、前年並で良いとのことでした。管理ができない遊休農地の拡大が懸念される事案です。

米の消費拡大の声があまり聞かれない反面、テレビCMでは食パン・菓子パンの映像がよく流れています。パンは日々進化をとげ、どれも美味しそうに見えるのは私だけでしょうか。

（編集委員長 西沢 泰裕）



農委だより第50号は私たちが担当しました。

後列左から 上坂委員、仲川委員、和田委員  
前列左から 平峰委員、西沢委員、村田委員